

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 16 年 11 月 4 日 (2004.11.4)

【公開番号】特開 2001-59950 (P2001-59950A)
 【公開日】平成 13 年 3 月 6 日 (2001.3.6)
 【出願番号】特願 平 11-169173
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 C 13/00

B 0 5 D 7/02

D 0 6 P 5/00

G 0 2 B 1/11

G 0 2 C 7/02

【F I】

G 0 2 C 13/00

B 0 5 D 7/02

D 0 6 P 5/00 1 0 2

D 0 6 P 5/00 1 1 4

G 0 2 C 7/02

G 0 2 B 1/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 11 日 (2003.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

昇華性色素を溶解又は微粒子分散させた染色用用材を電子計算機にて管理された色データに基づいて基体に塗布しておき、前記染色用用材が塗布された前記基体の塗布面を真空中にプラスチックレンズと非接触に対向させるとともに前記基体を加熱することにより昇華性色素を昇華させ、該昇華性色素を前記プラスチックレンズに接触させることにより、前記プラスチックレンズを染色させることを特徴とするプラスチックレンズの染色方法。

【請求項 2】

請求項 1 のプラスチックレンズの染色方法において、前記基体にはプリンタにより前記染色用用材が塗布されることを特徴とするプラスチックレンズの染色方法。

【請求項 3】

請求項 1 ないし請求項 2 のプラスチックレンズの染色方法において、前記プラスチックレンズに前記昇華性色素を接触し染色させた後、加熱により前記昇華性色素を前記プラスチックレンズに定着させることを特徴とするプラスチックレンズの染色方法。

【請求項 4】

請求項 1 ないし請求項 3 のプラスチックレンズの染色方法を用いて得られることを特徴とする染色レンズ。

【請求項 5】

昇華性色素を溶解又は微粒子分散させた染色用用材を電子計算機にて管理された色データに基づいてプリンタにより塗布することにより得られる印刷基体を使用し、該印刷基体の昇華性色素を昇華させて前記プラスチックレンズを染色するレンズ染色手段を備えることを特徴とするプラスチックレンズの染色装置。

【請求項 6】

請求項 5 のレンズ染色装置は、前記印刷基体の塗布面と前記プラスチックレンズの染色面とを非接触に対向させて保持する保持手段と、前記保持手段により保持された前記印刷基体と前記プラスチックレンズの染色作業内を略真空雰囲気にするための真空形成手段と、略真空雰囲気中にて前記印刷基体の昇華性色素を昇華させるために加熱する加熱手段と、を具備することを特徴とするプラスチックレンズの染色装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(1) 昇華性色素を溶解又は微粒子分散させた染色用用材を電子計算機にて管理された色データに基づいて基体に塗布しておき、前記染色用用材が塗布された前記基体の塗布面を真空中にプラスチックレンズと非接触に対向させるとともに前記基体を加熱することにより昇華性色素を昇華させ、該昇華性色素を前記プラスチックレンズに接触させることにより、前記プラスチックレンズを染色させることを特徴とする。

(2) (1) のプラスチックレンズの染色方法において、前記基体にはプリンタにより前記染色用用材が塗布されることを特徴とする。

(3) (1) ないし(2) のプラスチックレンズの染色方法において、前記プラスチックレンズに前記昇華性色素を接触し染色させた後、加熱により前記昇華性色素を前記プラスチックレンズに定着させることを特徴とする。

(4) (1) ないし(3) のプラスチックレンズの染色方法を用いて得られることを特徴とする。

(5) 昇華性色素を溶解又は微粒子分散させた染色用用材を電子計算機にて管理された色データに基づいてプリンタにより塗布することにより得られる印刷基体を使用し、該印刷基体の昇華性色素を昇華させて前記プラスチックレンズを染色するレンズ染色手段を備えることを特徴とする。

(6) (5) のレンズ染色装置は、前記印刷基体の塗布面と前記プラスチックレンズの染色面とを非接触に対向させて保持する保持手段と、前記保持手段により保持された前記印刷基体と前記プラスチックレンズの染色作業内を略真空雰囲気にするための真空形成手段と、略真空雰囲気中にて前記印刷基体の昇華性色素を昇華させるために加熱する加熱手段と、を具備することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】